

東北アジア歴史財団編『独島 領土主権と海洋領土』の問題点

2018. 6. 9 (下條)

1. 事実無根の東北アジア歴史財団編『独島 領土主権と海洋領土』の主張

(1) 東北アジア歴史財団編『独島 領土主権と海洋領土』の概要

- ①2018年3月23日初版(339頁)
- ②編者(代表都時煥氏)、東北アジア歴史財団独島研究所(既存の論稿を編纂)
- ③東北アジア歴史財団研究叢書70
- ④論稿8編

(2) 『独島 領土主権と海洋領土』の課題

- ①独島が歴史的に韓国領でなかった事実の隠蔽
- ②独島を韓国領とする前提で、国際法云々
- ③韓国側にとって不都合な事実を無視(良心的日本人の援用)
- ④従来もあったが、北方領土問題と日中の尖閣諸島を利用
- ⑤韓国側研究者の世代交代
- ⑥文献解釈に課題(文献批判を省略)

〔第1部〕 独島の領土主権

1. 都時煥「サンフランシスコ講和条約と独島主権の国際法的検討」

はじめに/サンフランシスコ講和条約の締結と連合国の対日領土政策/サンフランシスコ講和条約第2条の国際法的検討/サンフランシスコ講和条約と独島主権関連の検討/結び

2. 李相均「シーボルトの「韓国全図」中の独島名称が独島主権の論拠に与える含意」

はじめに/大韓帝国勅令中の石島名称と日本の問題提起/シーボルトの行跡と韓国に対する関心/シーボルトの「韓国全図」中の独島名称の分析/結び

3. 丁永美「GHQの日本占領統治の特徴から見るSCAPIN 677と独島の領土主権」

はじめに/GHQ日本占領統治の構造的特徴とSCAPIN 677/結び

4. 張世胤「日本の鬱陵島・独島主権侵奪と韓国の対応」

はじめに/最近の研究動向概観と朴炳陟報告書/開港以後の日本の鬱陵島・独島浸透と朝鮮(韓国)の対応/日本の鬱陵島・独島及び漁業侵奪に対する知識人の認識と義兵抗争/結び

〔第2部〕 独島と海洋領土

5. 金栄洙「近代の独島と海洋関連の歴史分野の成果と限界」

はじめに/西洋の独島発見及びロシアの韓国海洋探査/1870年代の鬱陵島・独島に対する日本の海洋探査/鬱陵島開拓・森林・漁業を巡る朝鮮・日本・ロシアの活動/大韓帝国勅令第41号と島根県告示第40号/結び

6. 金瑄元「日本の保護国化政策と独島編入の背景」

はじめに/山座円次郎と韓国の保護国化/韓国の保護国化と独島侵奪/結び

7. 郭真吾「日本の独島広報現況に対する分析」

はじめに/所謂竹島の日行事/教科書と独島/独島教育広報/Web 竹島問題研究所/結び

8. 李明贊「東アジアの領土問題と東北アジアの国際政治」

はじめに/北方領土問題と日露関係/日・中の尖閣諸島(中国名:釣魚島)紛争/東アジアの領土問題と東北アジアの国際政治/結び

2. 日本側の現状と課題

- (1) 韓国側の矛先は島根県竹島問題研究会に向けられているという現実
- (2) 外務省の見解に対する韓国側の批判、外務省からの反論は不発
- (3) 竹島問題を歴史問題とする韓国側に対する日本側の対応
- (4) 平昌オリンピックに見られる「統一旗」と北朝鮮
- (5) 日本による植民統治と北朝鮮の戦略(日朝国交正常化交渉)
- (6) 中国海洋情報センター(中国海洋信息中心)の動向
- (7) 韓朝中露 VS 日本の国際関係